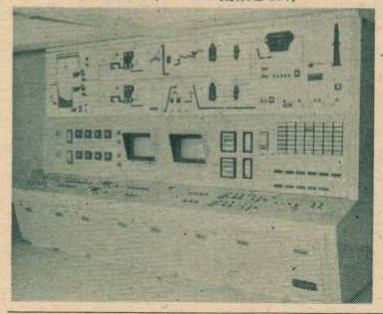
―四月から操業開始―
広域ごみ焼却施設が完成

五十五年度からの二カ年事業で建設している広域ごみ焼却施設が、三月に完成します。現在、各種機械の点検をしており、今月二十七日からごみを入れての試運転を行い、四月から操業を開始します。

▲ ごみも臭気も汚水も完全密閉で処理

▼ ここですべての機械を操作



市の焼却場の老朽化に伴い、沼館の衛生センター内に建設されているごみ処理施設は、六千九百四十平方㍍の敷地に、建築面積、千二百六十八平方㍍で焼却能力十六時間当り百二十㌧（六十㌧二基）、総事業費約十六億九千万円となっています。

新しい施設の特徴は、完全密閉式による中央制御方式で、収集車で運び込まれたごみは、すべて機械操作によって自動的に焼却処理されます。

ごみも汚水も臭気もすべて工場内に密閉され、薬剤並びに熱処理を施し、最新式電気集塵器により、ほぼ完全に処理された後、公害のないものとして高さ三十㍍の煙突から排出されます。

また、燃焼カスは、沼館上堤沢の埋立最終処分場へ運ばれます。

市の焼却場の焼却能力は、一日当り九十㌧ですが、この新施設は二倍の能力を有し、急増するごみ処理に対応でき、快適な市民生活の向上に大いに寄与するものと期待されています。

ごみを出す前に

ゴミ処理施設が完備されてもゴミの収集作業に多くの費用を必要とすることに変わりはありません。家庭でいらないものが出てきたからといってすぐに捨ててしまわないで、もう一度見直しましょう。

◆ごみは収集日に

ごみ集荷地は、ごみの捨て場ではありません。収集日、収集時間を守らないで集荷地へごみを出されたために、犬にかきまわされたり、雪で袋がやぶれたりしてごみが散乱し、付近の方方が迷惑しています。きれいな町づくりにご協力ください。

◆ごみは区別して

＜燃えるごみ＞

紙類、布、木片、台所から出るごみ（水切りしたもの）など

＜燃えないごみ＞

空缶、空ビン、金属、ガラス、プラスチック類、発泡スチロール、ビニール、ゴム、皮など

市病神経精神科病棟改築完成

狭くて老朽化が著しかった市立総合病院神経精神科病棟の全面改築工事が完成し、診療が開始されています。

新しい病棟は、鉄筋コンクリート二階建て、建物延べ面積三千二百二十五平方㍍、総工費五億五千三百二十三万円で、五十五年九月から二カ年事業で行われたものです。

同病棟には、診察室、心理室遊戯室、作業室、体育室などが設けられており、明るく近代的なものとなっています。

また、最近はアルコールなどの中毒性精神患者などが急増していることから、ベット数を増床し、百十床となりました。

広域消防「東分署」完成

昨年十二月二十八日に、大館周辺広域市町村圏組合消防署「東分署」が完成しました。

東分署は、近年宅地化が進んでいる東台、相染町など東側地域に対する防火対策などの強化のため、東台五丁目に建設されたものです。

建物の概要は、鉄筋コンクリート造り二階建て、延床面積二百九十三平方㍍で、総工事費六千八百十三万円となっており、水槽付消防ポンプ車一台が配備されています。

また、同署には署員六人が執務し、付近住民の生活環境の保全に努めています。

広域消防署東分署
☎49―3562

大館青年会議所 韓国のウルチュと姉妹締結

大館青年会議所が、遠く韓国のウルチュ青年会議所とがっちり握手――。

先月十八日、ビョン会長を団長とする一行四人が大館市を訪問、市役所、餌釣鉱山などを見学すると共に、当市青年会議所との姉妹青年会議所締結の調印式を行いました。これにより、今後、子どもたちの図画や図書の交換を始め、将来は広く文化経済の交流を深めていくことが約束されました。

ウルチュはいくつかの村からなる郡で、釜山から南へ一時間余り。人口約十四万、新興工業地で、特に製鉄、造船業が盛んです。

市長を表敬訪問

市長のエッセイ No. 43

今年こそはという多くの願望をこめて、新しい年も始動しました。雪のない穏やかな幕明けのような年でありますように祈りたいものです。

正しく知る

貿易マサツはますます大きくなるでしょうそして日本を知ろうとする海外からの研修も多くなるでしょう。そんな中である雑誌から「日本の輸出熱は婦人の力にある。結婚すれば退職する。だから世帯当りの所得が低く内需は少ない。老人、子供の世話は主婦がやるから社会保障費が少なくてすむ。主婦が家庭にいるから世代差がなく勤勉だ」といってます。

日本の女性の地位も国際的になったと感心しますが、果たして正しく評価されているのでしょうか。正しくものを見、知ることこそ対応に誤りはないもので、きびしい年であればことさらであります。市民と共にそんな年であるよう努めたいものです。

これでよいだろうか

日本人の生活感情は八〇%が「幸福感」をもっているといいます。そして中流意識をもっているといいます。

これとは対照的に私鉄総連の調査によれば組合員の賃金は生活費の六二%より満たしていない、不足分は時間外労働や主婦労働で当てているといいます。

感情と賃金を比較するのもどうかと思いますが、人間の成長は意欲にあると考えます。幸福感、充実感でいっぱいの中で成長を望むことができるだろうかと心配するのは一人私だけでしょうか。

追いつき、追い越せの活力が今日の日本、そして今の生活をつくりました。今度は後追いではなく先導を継持し、さらに発展させなければなりません。創造の活力が求められていることを忘れてはなりません。創造の活力こそ今日の不況を脱するエネルギー源であることを確認し合いたいものです。

角山健治郎

市役所をご案内します

環境保護課

（課長 山本礼治）

正面玄関を入ると、すぐ左に「環境保護課」があります。環境保護課では、鉱公害の防止、環境（自然）保護に関することや、交通安全対策の業務を行っています。

――公害防止については、どんなことをしていますか。

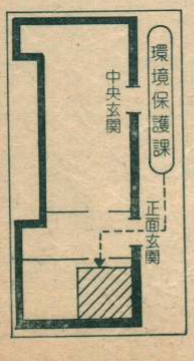
（課長） 騒音、振動、悪臭の発生防止、大気、水質の汚染防止など公害一般の調査、監視をはじめ、市民の公害苦情相談、事業所等の公害防止対策の相談を行っています。

なお、し尿浄化槽の設置や、各種事業所の新設増設については、いろいろな規制、制約がありますので、計画段階でご相談くださるようお願いします。

また、公害防止対策については、設備資金の融資あっせんや利子補給の制度もありますので、ご活用ください。

――交通安全対策については、主にどんなことをしていますか。

（課長） 交通安全確保のため、ガードレール、カーブミラー、センターラインを敷設したり、交通指導隊員や交通安全母の会などによる交通安全の推進、交通安全教室の開催、交通災害共済の加入受付を行っています。

なお、毎月第二、第三、第四火曜日に「交通事故相談所」を開設しています。

環境保護課☎49―3111
内線246・247